

広報 なかがしま 12月号



体育館前を親子揃ってスタート

親子で健康づくり

町内走ろう大会

十一月十日、第十回町内走ろう大会が開かれ、町内から親子連れあわせて百三十五人が参加しました。

町体育館前を起点に、二キロ、四キロ、七キロの三コースに分かれ、年齢や体力にあわせてそれぞれマイペースで走っていました。最年少は沖浦の浜江恵子ちゃん（一）から最年長は長浜の富田運夫さん（七）まで健康づくりにとがなばっていました。

今年、町合併三十周年とあわせて行われ、それぞれタイムをつけて記録証を交付しました。

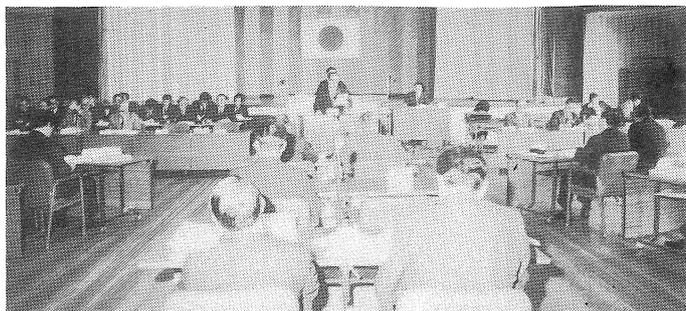
これを機に、地域で、親子で健康づくりに励んで欲しいものです。

今月号の主な内容

- 町議会第3回定例会……………2~5
- 心身障害者見舞金……………5
- 海岸回り予讃本線を守ろう……………6~7
- 無事故ですまそうゆく年くる年……………7
- 財政公表(昭和60年9月末現在)……………8~9
- 旬の味(うどん)……………9
- 一歳ですコンチニハ
(豊田美沙ちゃん)……………10
- 県教育文化賞に兵頭正さん
久保七郎さんは文部大臣表彰……………13

議 会

第3回定例会



長浜町議会第三回定例会が、十月二十八日から三十一日までの四日間の会期で開かれました。今回上程され審議されたのは、昭和五十九年度一般会計、国民健康保険など七つの特別会計の決算認定、昭和六十年一般会計、老人保健特別会計の補正、町道の認定、請負契約三件、大洲市、喜多郡長浜町外四か町村組合規約の一部改正など議案十五件、愛媛県議会議員の定数に関する意見書など二件、請願文書、陳情文書それぞれ一件。決算の認定は継続審議となり、その他の議案は原案通り可決、請願、陳情文書は受理採択されました。

【土木費】町道日ノ浦・小田際線舗装の工事請負費。町道維持補修費六百五十万円。小浦および大和団地内装工事百五十万円。ガードレール設置工事請負費など。

【消防費】大和分団第三部の車庫増築工事請負費。同分団積載車購入費百七十五万円。

【教育費】喜多灘小学校グラウンド用裏砂土百万円。長浜中統合二十周年記念誌の印刷費および焼却炉などの修繕費二百三十三万円。長浜水族館および碧水楼の取りこわしに要する経費など。

【災害復旧費】出海漁港北防波堤災害復旧工事。大西農地災害復旧工事。オガン谷農道災害復旧工事ほか五件で九百八十八万円。町道日ノ浦・松ノ久保線ほか九件の災害復旧工事費一千二百五十万円。

小波一号线

町道の認定

町道小波一号线の起終点の変更によるもので、長浜派出所前交差点から町営住宅築地団地横交差点に至る間の三百一十一・四一が町道として追加認定されました。

請負契約二件

を承認

昭和六十年年度沖浦漁港改修工事は九千五百二十万円で(株)西田興産と、昭和六十年年度喜多漁港地域改善対策改修工事(分割三)は、四千四百二十万円で(有)長浜建設と、昭和六十年年度榎生漁港局部改良工事は、三千五百七十万円で(株)清水

建設と請負契約を締結することが承認されました。

意見書二件を受理採択

愛媛県議会議員の定数に関する意見書が受理採択されました。これは、愛媛県議会議員の定数は正が検討されるのではないかと懸念されるため、削減することなどが無いよう特段の配慮を強く要望するものです。

また、国保財政の危機打開に関する意見書も受理採択されました。これは、医療保険制度の改革により退職者医療制度が創設され、療養給付費に対する国庫負担率が大幅に削減され、保険税の大幅な負担増となり、国保財政は重大な危機に直面しています。負担率の削減によって生じた財政上のマイナスで昭和五十九年度および六十年年度分については国庫負担率の引上げによって補てんすること、昭和六十一年度以降については保険税の負担増を招かないよう制度を見直すこと、医療費負担について負担の公平を実現するため加入者按分率を一〇〇%にすることなどを実現するよう要望するものです。

請願書を受理採択

国立病院、療養所を守る会代表世話人三好俊一、富野宏、山崎正の三氏から提出されていた「国立病院、療養所の廃止や地方移管、民営化計画を止め、医療機能の充実を求める」請願文書は受理採択されました。

陳情文書を採択

晩柑類等流通施設整備事業

長浜青果農業協同組合組合長一宮泰忠氏から提出されていた「晩柑類等流通施設整備事業(井関電子形状式選果機)にかかる助成交付金について」の陳情文書は受理採択され、ただちに町理事者に送付して、主旨に沿うよう善処方を求めることになりました。

一般質問

今回の議会では、菊地満男議員、二宮義徳議員、堤正和議員、二宮英二議員、津田龍雄議員、久保義章議員が質問を行いました。

陣頭指揮で

前向きに

町長の行政姿勢と
議員の勉強会

菊地(満)議員：町長は二回とも無投票当選であったが、町民の皆さんにほんとうに報いる覚悟で七年間やってこられたか。

議会議員のほとんどが七年間を振り返ってこのようなことではない、勉強をして町民の付託に応えなくてはいけないということ、町政に不満を感じてだと思ふ。議員が勉強をして困ると思ふか。それとも負けないよう勉強、努力をしようと思ふか。

晩柑類等流通施設整備事業補助金など

一般会計補正

昭和六十年一般会計に一億二千二百六十四万四千円が補正され、予算総額は三十八億六千九百七十六万八千円となりました。

今回補正されたおもな使いみちは次の通り。

【総務費】土地開発公社運営費補助金四百五十万六千円。

【民生費】老人ホームの複写機などの購入費五十万円。老人保健会

計への繰入金百九十三万円。

【衛生費】十月十九日に発足した大洲・長浜廃棄物共同処理事業検討協議会への負担金など六十八万五千円。

【農林水産業費】晩柑類等流通施設整備事業補助金三千八百八十九万二千円。転作営農定着促進事業補助金百八十五万二千円。園内作業農道等開設補助金六十八万九千円など。農業用施設の維持補修費百万円。柴地区水路改修他工事請負費三百二十万円。間伐促進総合対策事業補助金二百九十九万八千円。沈船魚礁設置事業補助金百万円。今坊地区船場改良工事請負費など。

計への繰入金百九十三万円。

町議会第3回定例会

られたことがあるか。あるならどのように思っているか。

ある本に「町行政の中心であるべき人は他力本願で、どろをかぶることはないやだと、近くにいる人に責任をかける、だんだん近くの人はずいぶん、近づくのは酒飲みか」と書いてあるが、長浜町の現状と比較してどう思うか。

また現在の行政のあり方で将来明るい見通しがたつか。

町長は、自分は他力本願だとお気づきになつてゐるか。それとも自分でどろをかぶり、道を開いて町政を前向きに進めるために陣頭指揮をとつておられるか。

二宮町長：二回とも無投票で当選させて頂き、たいへん感謝しており、将来の発展と町民の幸のために命がけで奉仕をしなければと考へて努力をしてきたつもりである。私は短所の多い人間であるが、すばらしい町にしたいという執念は誰にも負けないつもりであり、ご教示を頂いたことを胆に命じ、努力をしていきたい。

再質問でいわれたそれぞれの問題について深く反省しており、真剣に取り組んでいかなければならないと思つてゐる。

どろをかぶつてやらなければいけないじゃないかということとは身にしみて感じており、今後自分の全力を出し切つて、皆さんのご指導とご協力を頂きながら楽しく住みよい町づくりのために努力をしていきたい。

議員各位が勉強されることはい

いことであり、町の飛躍発展のために提言頂いたり、ご協力頂くことはたいへん有難いことである。お互いが勉強をして立派な町をつくり上げていくべきだと思ふ。

陣頭指揮をして町の行政が前向きになるよう進めていかなければいけないと思つてゐる。

できるだけ早く

選任

助役辞任の対応

二宮(義)議員：末端自治体の責任者の条件は、決断と実行であり、また包容力が要求されている。それはいたわり、思いやりであり、稲穂がたれているような姿勢と人柄が行政を執行していく人の条件であるといわれているが、町長はこのことについてどのように考へてゐるか。

次に、助役というのは女房役であり、一体となつて取り組んで始めて長浜町の行政がうまくコントロールされるのではないかと思ふ。助役退任についての挨拶が冒頭であったが、町長は部下を信頼し、部下は町長を尊敬していくということでないといけないと思ふ。町長はどのように今の行政内部の中で判断しているのか。

助役、収入役、教育長などは選任され、同意を受けて就任される。退任される時も議会に報告し、承認を受けることが部下に対する思いやりだと思ふが、町長はどのような判断であつたのか。

たのか。お互いの職員並びに責任者との立場の中で本場に和がつくられておると思つておられるか。

助役辞任の経過と、今後どのようなことを考へて助役の人選をされるのか。

二宮(英)議員：慰留したが、どうにもならず、迷惑をかけたということであるが、その内容はどういうことか。また、どのような慰留をしたのか。

任期途中であるのになぜこのようになつたのか。健康的な理由でなく、やめざるを得なかつたのは町長に反省しなければならぬことがあるのではないか。

辞表はいつ受理されたのか。後任についてはできるだけ早い時期にということであるが、いつごろになるのか。

津田議員：助役の問題について、逃げた女房をいつまでもよかつたといつて、後妻のことをおろそかにしていたのでは町の行政はうまくいかないと思ふ。早く新しい助役を選任することが町民に対するおわびのしるしであると思ふがどう考へてゐるか。

久保議員：森助役は前々から辞職の意思表示をされてきたと聞いているが、いつごろから町長と話合つておられたのか。町民は、任期半ばで突然の辞職に不信の念をもつてゐる。

臨時町議会の開催中にもかかわらず、議会にひと言の挨拶もなく、マスコミでは事前に報道されてい

る。議員協議会の席上、「能力の限界を知つた」ということであつたが町長はどのように理解されたのか。

助役辞職までのいきさつと理由、また後任人事はどのようにされるのか。

二宮町長：町の行政を執行していくことになる、町の将来の長期計画を立案し、これを検討して決断、実行していくことが基本だと考へ、町長は責任をもつてことに當つていかなければならないと思ふ。仕事を進めていくうえでは、人の和が極めて大切であり、十分配慮しながら行政の執行にあつてゐるつもりである。

助役の辞任について辞表がでたのは九月二十一日であり、どうしても十日にはやめさせて頂きたいということであつた。慰留をしたがやむを得ず辞任を認めた。これは私の力不足であり、たいへんご迷惑をかけたと思つてゐる。

辞任について定かではないが、四月ごろやめたいという話があつたのでひきついでにやつて頂きたいと私の方からお願いしていた。任期中であり、今長浜町はたいへん大事な時期であるので、ぜひ思いとどまつて欲しいと思つたが、決心が固いということ十月五日に受理した。

このことについてご報告が遅れたことは私の判断の誤りであり陳謝申し上げたい。力不足、いたらなかつたということでは十分反省しており、今後そのようなことが

ないよう努力をしていきたい。マスコミには私からはまつたく申しでない。

今後の対応については、町政の停滞がないようできるだけ早い機会に後任助役の選任をして議会のご同意を得たいと考へてゐる。しかし、相手があることで何月何日ということでは申し上げられない。今後は、一日も早く助役を作つて一生懸命町発展のために頑張つていきたいのでご協力をお願いしたい。

体を張つて存続を

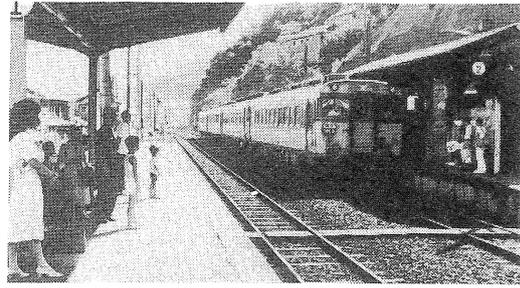
国鉄問題

二宮(義)議員：予讃本線海岸回りをいかにして存続していくかというの大きな政治課題であると思ふが、町民がこの重要性和危機感を感じてお互いにPRすることを徹底しているのか。

長浜が対策協議会の事務局を預つておるが、ポスターや標語を募集しても長浜中の生徒のものはひとつも入つていない。子供から学校に至るまで教育していくことが行政の中で大切ではないかと思ふ。六十一年度には、内山線が開通するようであるが、今後どのような運動をし、対応していくのか。今後の基本的な取り組み方について伺いたい。

二宮町長：六十二年四月には六分割、民営化の方向が示唆されており、対策協議会では強力な陳情を続けているところである。今後は陳情だけでなく、現状をよく踏

まえて、お互いに国鉄利用を考え、努力していくようお願いしたい。内山線が開通しても国鉄予讃本



実績を高めて存続を (伊予長浜駅)

営業運転が始まると長浜町は陸の孤島となることはいなめない。海岸回りの存続はたいへん難しく、存続運動は限界にきていると思う。そこで新たな計画をたてて行動していくべきだと考える。例えば、松山〜長浜間のバス路線を検討するとか、第三セクター方式をとるなど今から関係町村との話し合いに入っていく必要があると思う。車体の軽いバスタイプのジーゼルバス列車の運行を考えてはどうか。町としてどのような方策をたてているのか。

長浜駅の国鉄所有地の払い下げについて国鉄から話がないか。また、町からアプローチはしたか。払い下げが受けられたらどのような利用を計画しているか。国道のための立ち退き者の代替地に考えてはどうか。

二宮町長：内山線が開通しても国鉄予讃本線として残して頂くというところが第一である。

六十二年の四月に民営化されても主要路線として存続していただくよう強力に進めていかなければならないと考えている。

第三セクターでいろいろなところが経営しているが、今後先進地調査なども行って対応できる体制をとっていきたい。

国鉄用地は 代替地として

堤議員：先般内山線の締結式が中山町で行われ、六十二年度から

国鉄用地の払い下げについては、国道三七八号線の改良事に伴う代替用地として申請しているところである。用地買収計画と合わせて国鉄と協議中であるが、払い下げを受けられるかどうかは確定し

合意を得、実施

小型船だまりと二次開発

堤議員：小型船だまり建設について資料集めをしたところ、議員協議会での答弁と内容があまりにも違っている。「裏金はないのか」という問いに対し「裏金の話はなく、漁業補償は七億五千万円だけで、他の約束はない」と聞いているが、漁業者の話によると、「一部の人が賛成し、裏金の話もあった。なぜ町は望みもしない漁港を造るのか」また「裏金は十月から十二月にかけて支払ってもらう約束になつている」ということだが、これでも裏金の約束はないのか。

町財政の圧迫をしても、危険であり望まれない港を造るこの構想をなぜ進めなければならぬのか。また、この漁港は当初計画四十六億円です業事業になっており、

国が四〇％、県四〇％、町が二〇％の負担率で、近い将来重要港湾の指定を受けると補助率が六分の一に下がることになって、当町の財政ではもちこたえられなくなるがとりやめる考えはないか。

補助金の起債充当率が二〇％で今年はずつており、実際は四〇％であるということであるが、充当率が上つた時はどうなるか。起債は一般財源であるのか。

重要港湾の指定を受け補助率が六分の一になると事業量がどの程度になり、最終的に町がどのくらいやっていくのか。一般財源は減るのか、増えるのか。

二宮町長：小型船だまりの建設については、漁業者の皆さんとの話し合いで合意を得て実施している。裏金については昭和六十年の三月定例議会でもお答えしておる通りである。漁業補償に関することについては、漁業補償契約および覚書に明示しており、それ以外のものはない。

町の財政負担について、補助率が六分の一になると、その中で二〇％の起債があり、これは年によって変わるものである。町負担の八〇％の中で、六〇％は地方交付税の措置を講じてもらうので一般財源は四〇％である。町財政の中で負担可能な数字であるので再建団体になるようなことはない。

重要港湾の指定を受けた後の予算については、年々変わることであり明確でない。

上田総務課長：負担割合については、国の地方財政計画に基づいて行われるので、起債の充当率が変われば交付税で措置される財源率も変わります。一般財源の額は決められた数字で割り出すことはできないのでご了解いただきたい。

全力で事業実施努力

大谷口地区道路新設工事

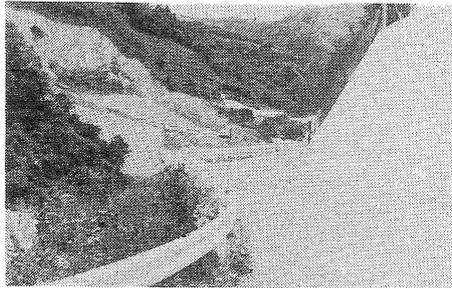
津田議員：大谷口地区道路改善事業は、昭和五十七年度から三年間工事を継続してきたが、本年度に入つて一向に事業が進行していない。六十年の予算に地方改善対策費として四億六千八百七十七万八千円計上されている。内訳として大谷口道路、国道三七八号線から国鉄ガードまで、喜多灘小学校から日ノ浦部落までの道路、国鉄ガードから喜多灘小学校までの全面舗装と国道三七八号線から国鉄ガードまでの舗装が計上されているが、一向に進行していないのはなぜか。

二宮町長：この工事は、今坊浜から喜多灘小学校に至る総事業費六億七千五百六十六万円、総延長千四百三十九・三メートルにおよぶものである。これは、地方改善事業として国の採択基準にあわないという点で予算化するのが困難であったが、西田先生のお力添えを頂いて採択されたものである。昭和五十七年から継続的に実施しており、本年度への繰越し分についても六十二年二月末ころには竣工する予定であり、道路舗装工事は六



現在の長浜港

町議会第3回定例会



工事が進められている大谷口地区道路

十一年度に実施する計画である。喜多灘小学校を起点に、日ノ浦部落に至る延長約千餘、総事業費約四億円の工事は、国の採択基準に合わないということで事務段階では不可能な問題である。しかし、地元の強い要望もあり、再三県にもお願いし、西田先生のお力も借りて着工ができ、完成するよう努力したい。

津田議員：四億六千八百万円の予算をつけておきながら六十年度は何もできないということだが、この予算についてのどのような処置をとるのか。

また、四億円あまりの予算はこれからやってできる見込みがあるのか。

二宮町長：今年やるということについてはなかなか難しいのではないかと思う。全力で事業実施にこぎつけるよう努力し、できない場合は、六十一年度にはどうしてもやるということ而努力していきたい。

漁業集落環境整備事業で

喜多漁港周辺の整備

津田議員：喜多漁港の整備も八〇九分できあがったが、この周辺の環境整備をもっと立派なものにしていくということを進めている。これをどのようにして進めていくのか。国、県に対してどのような働きかけをしているのか。

二宮町長：国、県に対し、第七次漁港整備計画との併合を図りながら、地元の要望の主旨を尊重し、整備を進められるよう内容を検討して、現在漁業集落環境整備事業ということで要望しているところである。

漁港整備との関連もあり、国、県へ事業の早期完成、採択について強力に要望していきたいと考えているので事業推進にご協力をいただきたい。

継続的に諸問題に対応

河辺川ダム対策

二宮(英)議員：昭和六十年十月四日に河辺川ダム対策市町村連絡協議会が設立されているが、なんら協議に預かっていない。ダム建設に対して町が同意したんだとい

うことは承っていないが、市町村間ではこのダム建設に同意をしたのか、していないのか。

中予地区では、ダム建設推進協議会が結成され、早く完成するよう陳情などをしておられるが、当町を含めた対策協議会では前向きに対応が行われていないように思う。結成してから今日までのような対応をしているのか。対策は立てているか。今後どのような取り組みをしていくのか。

二宮町長：河辺川ダム対策市町村連絡協議会で調査、研究、協議をしてダム建設等に対処していきたい。長浜町としても問題等を把握し、対処するため、十月一日付で河辺川ダム建設対策班を設置しこのことにあたることにしている。

連絡協議会では、今日までに設立総会と幹事会を一回開催している。幹事会で、現況と問題点、人口計画と利水計画、産業振興と利水計画について取りまとめ、十一月中に河辺川ダム対策市町村特別委員会、協議会との合同会議を経て、国、県へ要望書を提出することになっている。

町の対策班については、現況と問題点について取りまとめ、継続的に諸問題に対応させていきたい。ダム建設の同意はしていない。

今後、ダムができると中予の方へ分水された時にどのような状況が起きるかということを検討して、上水道や漁業などに与える影響があるということになればダムの建設、

手続きをして

心身障害者見舞金

身体障害者手帳あるいは療育手帳の交付を受けて、十二月一日現在長浜町に住んでおり、住民登録をしている人には、十二月に見舞金が交付されます。

この見舞金を受けるためには、定められた様式で申請手続きをしなければなりません。詳しいことは役場住民課へおたずねください。支給額は次の通り。

- 【身体障害者手帳】▽一級、二級の方：五千円▽三、四級の方：四千円▽五、六級の方：三千円【療育手帳】▽Aの方：五千円▽Bの方：四千円

第三号被保険者の届出は済みましたが

国民年金に任意加入されている奥さま、社会保険庁から送られてきました「国民年金任意加入被保険者現況届書」の届出は済みましたか。

この届出をして第三号被保険者になりますと、昭和六十一年四月から、自分で保険料を納めなくて

訂正

本紙十一月号三ページ人権擁護委員の記事中、平田三盛さん(長浜)とあるのは、(出海)、森議助役(六三)とあるのは(六二)お誕生おめでどうの記事中、白石正俊とあるのは白井正俊のあやまりでした。訂正しておわびします。

もよくなります。また、年を取ったときや障害者になったときには自分名義の年金が受けられるようになります。

手続きは簡単です。ご自分の住所、氏名とご主人の氏名、生年月日、厚生年金(船員保険)の年金番号を記入して、ご主人の会社へ提出してください。

会社で、あなたが健康保険の被扶養者になっているかどうか、厚生年金(船員保険)の記号番号は正しいかを確認のうえ、取りまとめて市町村役場へ提出してください。

もし、会社の方で取りまとめができないときは、ご自分で届出をしてください。来年一月末までに必ず届出をしましょう。

なお、共済年金加入者の奥さまにも届出用紙が送られていますが、この人達については後日必要な届出をお願いします。従って今回の届出はする必要がありません。

守ろう海岸回り予讃本線

みんなでも守ろう

海岸回り予讃本線

シンポジウム開く

大正七年、愛媛鉄道として開業以来七十年の歴史を持ち、私たちの足として生活を支え、産業、文化、経済の発展に大きく寄与し続けてきた海岸回り予讃本線が来春の内山線開業、六十二年四月の分割、民営化に直面してその存続が危機に瀕しています。

この問題は、昭和四十二年日本鉄道建設公団による内山線建設工事から端を発し、それ以来毎年各般にわたり海岸線の存続運動を展開してきましたが、今年七月に愛媛県知事へ、八月には四国総局長へ陳情しており、一方では、国鉄の維持存続はまず地域住民の利用が大切であるということから、その利用啓発運動も続けております。

利用者の増大を

そこで、国鉄予讃本線対策協議会(大洲市、長浜町、保内町、双海町)では、十月十五日町体育館で「国鉄利用促進を考えるシンポジウム」を開きました。

これは、海岸線を維持存続するために、利用者の増大が緊急の課題であることを認識し、沿線住民の一人一人が私たちの共通の財産である海岸回り予讃本線を守るために何をしなければならぬのか



活発な意見が出されたシンポジウム

を考え、具体的行動の礎となることを目的として開かれたものです。

一市三町の市、町長、議会議長、関係者らおよそ六十人が参加して、関子英雄愛媛新聞論説委員の「国鉄の役割と住民の利用」と題した基調講演が行われ、「第三セクターとしての三陸鉄道(株)の実態や長浜の自然景観を生かした国鉄利用」などの話にひき続き、丸山双海町長をコーディネーターとするパネルディスカッションが行われました。

二宮長浜町長ら六人のパネリストが問題を提起し、今後の対応について討議、組織をあげて国鉄を利用するなどの意見がだされました。

切符は地元駅で

最後に、このシンポジウムを通

じて国鉄の役割と国鉄がおかれている厳しい現況を認識することができ、地域住民が一丸となって利用実績を高め、予讃本線を守るため①旅行は国鉄利用で地元駅から出発する②定期や切符は地元駅で購入し、合わせて往復切符を購入する。③地区外からの来客には、汽車を利用して頂くようお願いする。一出かけるときにはお互いに汽車を利用すること等を誓い、それぞれの立場で維持存続運動を実施しようという宣言が採択されました。

対策協議会開催

また、十一月九日には町体育館で第二回国鉄予讃本線対策協議会が開かれました。

今回は、西田国土政務次官を招いて、先生から予讃線存続に関する状況説明が行われ、今後の本線存続運動の具体化について、「陳情内容、陳情日程」などが議決されました。

維持存続に関する

提言

これらの対応と並行して、十一月五日、菊地満男拓政会会長から「国鉄予讃本線の維持存続に関する提言」が町長に提出されました。提言の内容は下記の通り。

内山線の開業は、現路線の減便、ローカル化、更には現路線の廃止に通じることが予想されます。もちろん国鉄予讃本線対策協議会では、これらの動きに対して現路線

一、本線の必要性

本線は大正七年、愛媛鉄道により長浜、大洲間の開設以来、今日まで半世紀以上における歴史の中で、当地域住民の生活環境や生産環境形成に重要な役割を果たしてきており、長浜町の長期開発計画をはじめとする当地域の将来を展望するとき、本線の存続を図らなければならぬことは論をまたない。

仮に、維持存続がなされなかったとすれば、政治、行政上の責任は重大であると考えます。

二、内山線の開業と国鉄の分割、民営化を前にした存続運動のあり方

昭和六十一年三月の内山線開業および国鉄再建監理委員会答申による昭和六十二年四月の国鉄民営化という大きな胎動が始まっており、当局方針の骨格が検討されている時期にあつて、存続を期するための運動の展開は総力を挙げて行うべきであり、従前のままでは事態の変化に伴う当局への反映がなされないと考えます。

三、存続に関する具体的案件

①海岸線が予讃本線として残ることによって、本線の存続はも

ちろん、内山線も予讃本線として残すことになる。

②八幡浜〜松山間における通し運転を行うこと。

③減便による不便は最少限度にとどめ、通勤、通学者への利便を図ること。

④急行列車の運行は、必要便数を確保し、最悪の場合においても快速列車の運行を行う等の必要措置を図ること。

⑤全線のC・T・C装置を民営化するまでに、現国鉄で整備実施しておくこと。

⑥ダイヤ編成にあたっては、接続列車を十分考慮した編成とすること。

以上の実現に精力的な交渉を続けておくべきと考えます。

四、陳情の実施

現状においては、陳情活動が大幅に遅れているとみなければならぬ。一市三町で構成する予讃本線対策協議会および関係諸団体と意志の統一を図り、愛媛県、国鉄四国総局、国鉄本社等、当局陳情を活発に実施すべきと考えます。

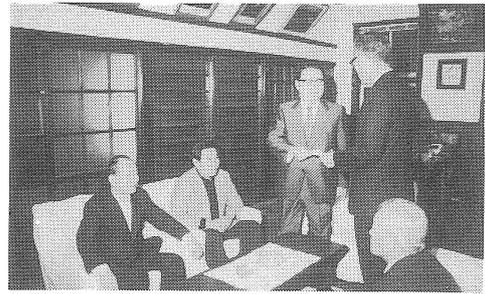
以上、諸点について町は早速に然るべき対応を講ずるよう提言する。

存続のため関係機関への陳情を続けてまいりました。しかし、海岸回り本線存続には非常に厳しいものがあります。今後、私たち沿線住民は、一丸

私たちが共通の財産である海岸回

お知らせ

り予讃本線を守るため、お互いに
汽車を利用するよう真剣に考えま
しょう。



町長に提言書を手渡す菊地会長

お互いに相手の 立場を考えて

人権週間 12月4日～10日

「人権の共存」―お互いに相手の
立場を考えて豊かな人間関係をつ
くろう―十二月四日から十日まで
の一週間は人権週間です。

人権週間は、国民一人ひとりが
「人権」というものを再認識し、
また、自己の行為によって他人の
人権を侵していないか反省してみ
る週間でもあります。

差別、いやがらせ、家庭問題、
近所とのめめごと、子供らのいじ
めの問題などでお困りの方は、お
近くの人権擁護委員か法務局また
はその支局へご相談ください。

無事故ですまそうゆく年、くる年

年末年始の交通安全

大洲署管内の交通事故は、十月
二十日現在で発生二百二十三件、
死者五人、傷者二百九十八人で発
生件数、傷者とも前年より大幅に
増加しています。

長浜町内の事故発生状況は、発
生二十九件、死者二人、傷者三十
四人となっています。

事故の特徴は、①交差点での出
合頭②国道五十六号線における追
突③お年寄り、子供などの事故が
多く発生していることです。

年末年始は、飲酒の機会や雑踏
にともなう交通事故が多く発生す
る傾向にあります。警察、町、安

必ず受け取りましょう

なお、当町の人権擁護委員は次
の方々です。
熊野熊雄さん(長浜) 平田三盛
さん(出海) 土居孝童さん(柴)

公給領収証完全発行強調月間

11月20日～12月19日

愛媛県では、十一月二十日から
十二月十九日までの一か月間公給
領収証完全発行強調運動を実施し
ています。皆さんが、料理店、パ
ー、キャバレー、飲食店、旅館等
で遊興、飲食、宿泊、休憩などを
され、料金を支払われたときは必
ず領収証を受け取って頂き、この
運動にご協力をお願いします。

「無事故ですまそうゆく年、くる年」を合言葉に年末年始を迎えましょう。

お互いに、交通ルールをよく守り、

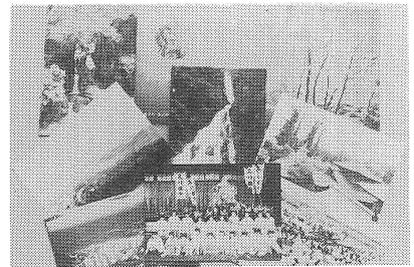
観光PRに

絵葉書でできる

町ではこのたび長浜の観光をPR
するため、八枚一組(三百円)
の絵葉書を作りました。長浜海水
浴場、白滝、出石寺など長浜の美
しい風景が含まれています。なお、
五十組以上購入される場合は一組
二百五十円になります。

絵葉書希望者は、役場経済課か
白滝商工観光連盟へお問い合わせ

ください。



完成した観光絵葉書

ご協力ください

水道改良工事

町では将来の水需要に対処する
ため、水源の拡充、配水管の新設、
並びに布設替えなど大規模な改良
工事を昭和五十八年度から行って
います。

これに伴って道路交通にご不便
をかけたり、配水管の切替などに
よって断水、あるいは赤水が出た
りして、たいへん迷惑をおかけ
することがありますが、皆さんが
生活する上で必要な水を確保する
ための工事ですので、今後もご協
力いただきますよう宜しくお願い
します。工事の概要は次の通りで
す。

【水道水源増補事業】送水管(柴
下須戒)径〓四百〓、長さ〓二
千八百一十一・七〓配水管(下平
沖浦)径〓三百〓、長さ〓百五
十七〓配水管(下須戒)柴

二百五十〓百五十〓、長さ〓二千
三百六十七・二〓浄水場改良増
築工事【簡易水道施設整備事業】
配水管(沖浦)径〓二百〓、
長さ〓三百八〓、櫛生綱掛岩附
近)径〓二百〓、長さ〓百六〓
須沢出海増圧ポンプ場

青少年の悩みごと相談

ヤングホットライン

県では、青少年の健全育成、非
行防止の一環としてヤングホット
ライン(青少年電話相談)を昭和
五十八年十月から開設しています。
悩みをもつ青少年やご家族のみ
なさんのための「直通電話相談」
です。月曜から土曜日の午後一時
から六時まで各教育事務所、教
育問題のベテランが相談にあたり、
一切の秘密を守ります。

八幡浜教育事務所の電話番号は
0894-22-4976です。

年賀状の準備は

お早めに

元旦に年賀状を手にする楽しさ
：年賀状を元旦にお届けするため
にぜひお早めにご準備ください。

十二月八日、十五日は「年賀デ
ー」、家族揃って年賀状づくりのチ
ャンスです。十二月十五日から年
賀状の引受を開始します。元旦に
お届けするためにできるだけ二十
日までにお出しください。

年賀状は「町内あて」「町外あて」
に分けて出してください。

現在長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和60年度9月末現在の財政状況を公表します。

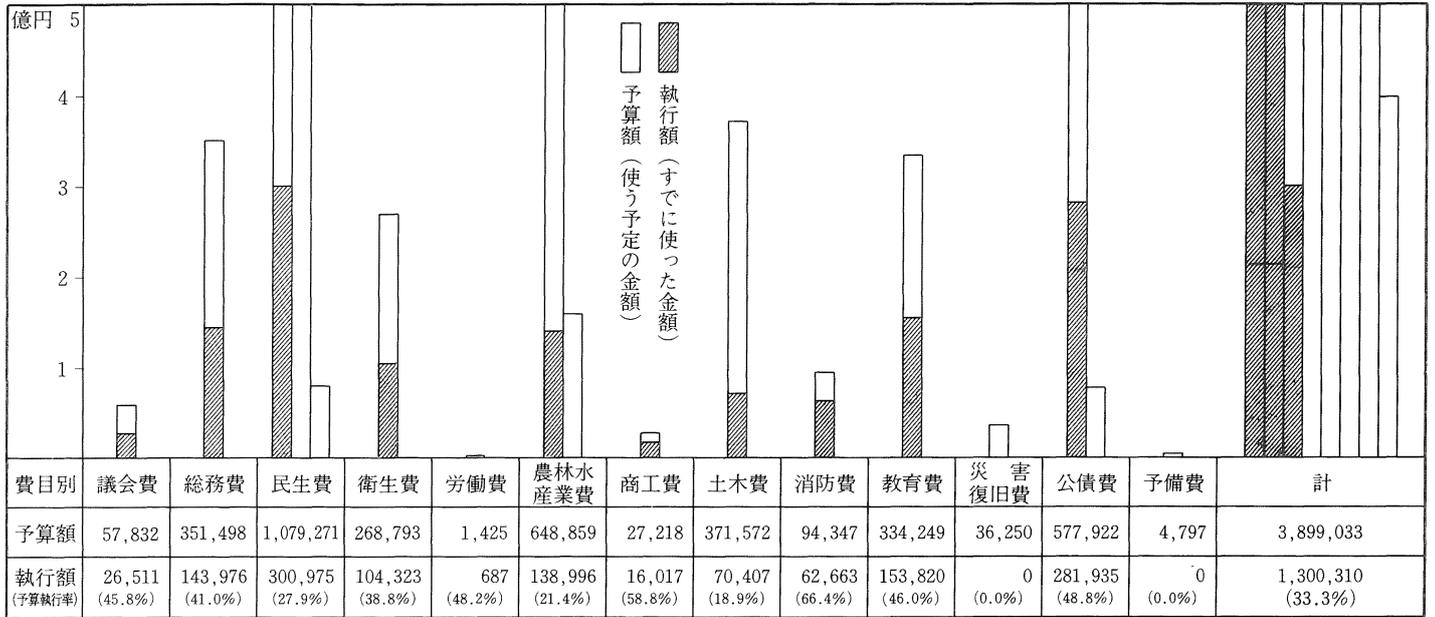
昭和60年11月 長浜町長 二宮重憲



会計

歳出（使うお金）

（単位：千円）



特別会計

国民健康保険



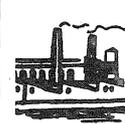
予算額 890,302千円
収入済額 313,547千円
支出済額 319,831千円

国民健康保険直営診療所



予算額 15,772千円
収入済額 1,409千円
支出総額 10,648千円

臨海土地造成事業



予算額 1,401,749千円
収入済額 0千円
支出済額 13,924千円

老人保健



予算額 518,172千円
収入済額 338,775千円
支出済額 355,723千円

住宅新築資金等貸付事業



予算額 54,371千円
収入済額 6,811千円
支出済額 11,593千円

港湾施設事業



予算額 10,000千円
収入済額 4,115千円
支出済額 5,414千円

簡易水道事業



予算額 136,792千円
収入済額 5,844千円
支出済額 45,361千円

税別収入状況

（単位：千円）

税種別	予算額	収入済額
町民税	192,063	101,011
固定資産税	164,620	90,764
軽自動車税	10,646	11,116
たばこ消費税	37,128	20,392
電気税	25,080	14,147
木材引取税	80	0
特別土地保有税	1,987	281
合計	431,604	237,711

水道事業会計

収益の収入済額	57,870千円
収益の支出済額	43,340千円

工業用水道事業会計

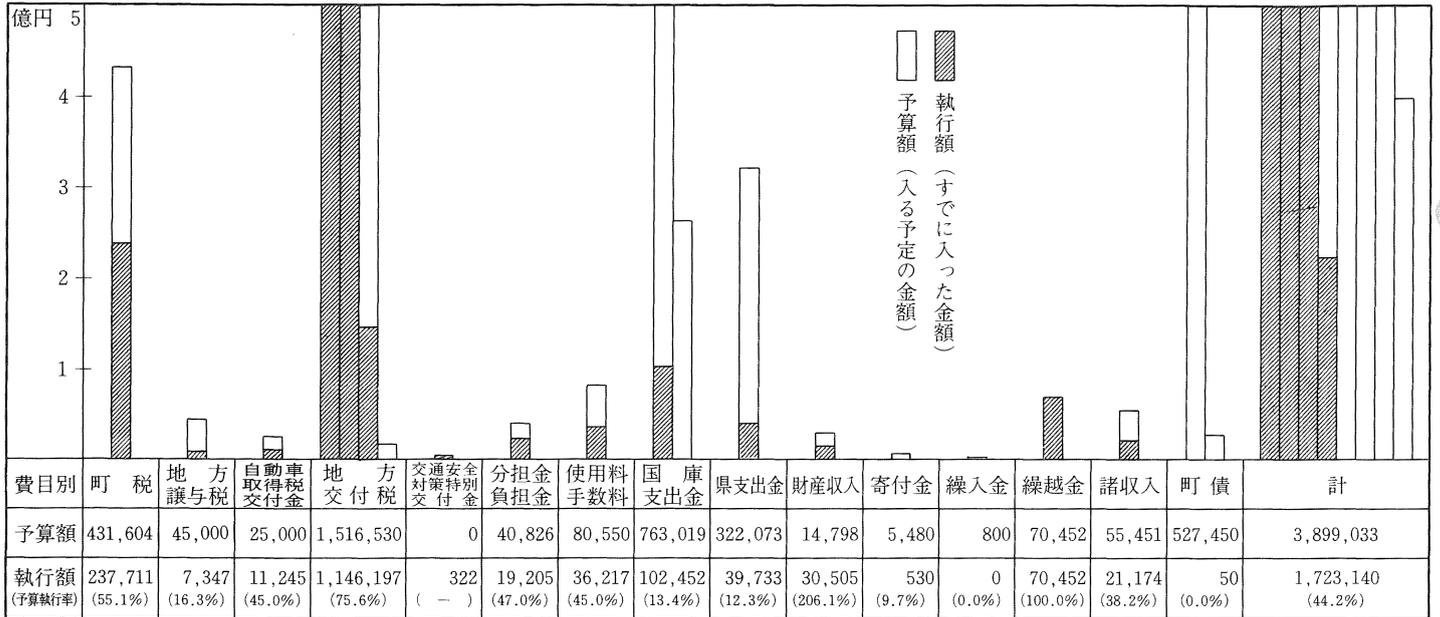
収益の収入済額	5,746千円
収益の支出済額	7,885千円

昭和60年度9月末

一般

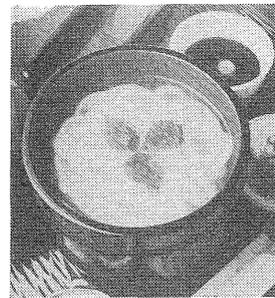
歳入 (はいるお金)

(単位：千円)



旬の味

うどん



白滝のたらいうどんは、全国的に知られていますが、お昼に、おやつに、夜食にと、冬は煮込みうどん、夏は冷やしうどんと日本人の食生活には欠かせません。

奈良朝時代、唐菓子の一つとして渡来してきたそうですが、うどん、そうめん類が庶民生活の中に浸透していつて、小麦粉がうどん粉と呼ばれるようになったのは、室町時代中期(十五世紀末)以後のことだと言われています。

だんご状で汁の中でころころしていたために「餛飩」と呼ばれ、熱湯にひたして食べるので「温餛」にかわり、更にこれを

「餛飩」となり、略して「うどん」になったとする説があります。

家庭の味、手打ちうどんに挑戦してみませんか。

【材料(三十人分)】▽中力小麦粉(地粉)：四キロ▽水七〜九カップ▽酒：まカップ▽塩：九十g

【作り方】①小麦粉に塩を入れよく混ぜてから五カップの水、まカップの酒を入れ混ぜる。残りの水は、硬さをみながら入れて下に押さえるようにして混ぜ合わせていく(手で踏み、ねかすのでこの段階でやわらかくしないこと)②①を三〜四個に分け、ナイロン袋に入れ、タオルで包み、よく踏み、ぬれ布巾で包み約二時間ねかす③耳たぶくらいの固さにできあがった生地を、めん棒で三〜四センチの厚さまでのばして、打ち粉をし、びょうぶたたみにして約三〜幅に切り、小麦粉をふりさばく④沸騰した湯の中に麺を入れ、十五〜三十分ゆでる。ゆであがった麺は流水でよく洗い、冷えたら玉にまとめる。

【薬味】にら、ねぎ、ごま、しょうが、しそ

【つけ汁】煮だし汁四、濃口しょうゆ一、みりん一の割合

モニターつうしん

定時放送などで

献血の周知

献血車にお願いしたいのですが、時間を覚えているつもりが、気がつけば終わってしまった後ということがよくあります。前回もできずに終わってしまいました。せっかく献血車がきていますので、停車している間、何か放送を流すなどの工夫はできないものではないでしょうか。

(豊茂・谷本こづえ・34歳)

お答え：保健衛生行事につきましては、各戸配布の月間保健衛生プログラムおよび有線放送を通じて事前にお知らせしています。ご意見の献血についても実施当

日の朝六時三十分の定時放送でお知らせして皆様のご協力をお願いしているのが現状です。

献血車には放送設備がありませんので、献血につきましては、保健衛生プログラム、広報などは、定時放送などを十分ご活用頂き、更にご協力をお願いします。

ポートタウン的

なものを

埋立地

大阪の南港にポートタウンという海を埋め立てて造られた町があります。緑あり、人工の川あり、きれいな空気があり、面積においてはその何十分の一にすぎないと思いますが、長浜の埋め立て地にもそれに似た場ができるのではないかと考えています。

一歳ですコンニチハ

豊田美沙ちゃん (出海)

昭和59年12月14日 生まれ

女の子なので優しくて、かわいい名前がいいなと思って美沙という名前にしました。三人の中では一番きかん坊のようです。気に入らなかつたら「う、うん」といつて手ではらいのけます。動きの方も活発で、なかなかおもりがたいへんです。大きくなったら何でも進んで行動のできる素直で正直な子供になつて欲しいと思います。

(父||豊田芳弘さん34歳・母||寿子さん31歳)



子供は大人の鏡

挨拶運動

(今坊・中見由香里・24歳)

私の家は、小学校の通学路に面しています。ですから、登校、下校時の児童によく会います。農協在職中からの習慣で、老若男女を問わず、幼児に至るまで会つたら挨拶をしていますと、相手も返してくれます。病気のゆえに退職した私ですが、病院へ通う途中で歩きながら「今日は検査の結果が白と出るか黒と出るか」と考えていると、突然、「お早ようございます」の声。ハッと気づくと目の前に一年生の児童が数人、朝の挨拶です。シマッタと思い、「お早よう」と返しましたが、挨拶を先に越されてしまったのです。子供は大人の鏡であると気づき、以後は心の病に気をつけています。

(榊生・榊筒益一・59歳)

動向調査して検討

インフルエンザ予防接種

流感の予防接種については、全国的に関係機関の対応がまちまちのように思われます。行政も医療機関もその意志があれば希望者に対して接種が可能であることを意味するものと考えます。しかし、本県の現状は集団生活者である児童、生徒中心の限定接種のみで、その必要度が高いと思われる老人などの肉体的弱者にはその機会が与えられておりません。接種が中止になった事情を承知していま

すが、本人の意志と負担において接種を希望すれば一定の日時を限って、その機会が与えられるよう是非ご配慮をお願いします。接種ができない場合は、その理由を聞かせてください。

(白滝・上田正・74歳)

お答え：インフルエンザの予防接種は県の実施要領にもとづいて実施しており、ご意見の通り三歳以上高校生までの集団生活者を対象としており、一般の予防接種は実施しておりません。

一般の予防接種につきましては、予防接種を実施する医師、および予防接種に起因する無過失事故の問題、他町村の動向等も調査して検討したいと思います。なお、大洲市、喜多郡では実施しております。

総合福祉計画

を立案中

老人福祉と敬老行事

九月十五日が敬老の日として国民の祝日となつてから既に二十年、その間男女とも七、八年寿命が伸び、七十歳の平均余命は男で十二年弱、女で十五年弱となっているようです。町主催で敬老会を開かれることはありがたいことと感謝しますが、病氣や老齡、または多忙で欠席される方、心象的には老人と思いたくない方など種々問題点もあるようです。次の点に配慮してください。

①敬老会の対象年齢を七十七歳とされてはいかがですか。

②あらかじめ欠席の意志を申し出た人には案内をとりやめて欲しい。

③敬老会のあり方を再検討されてはいかがですか。

なお、老人福祉は一日の行事として敬老会を開催されるよりも、長期の寝たきり老人、老人性痴呆者を抱える家庭、独居老人など一家庭では対応が困難な方々へ温かい行政の手を差しのべることこそ真の敬老であり、福祉であると思います。

老人をとり巻く環境はたいへん厳しいことを承知していますが、国の施策に即応して、いわゆる中間施設の設置やデイケア、リハビリを含め訪問看護、入浴、給食などの在宅サービスを可及的速かに実施されるようお願いいたします。

(白滝・上田正・74歳)

お答え：敬老会の対象年齢の引き上げや欠席される方の取り扱いなどを含めた敬老会のあり方については検討させて頂きたいと思っております。

老人福祉関係について町と社会福祉協議会の今後の取り組みについて述べさせて頂きます。

七十歳以上の人口が千二百万人ともいわれ、今後も益々老齡化が進んでいく現在の日本社会において、老人福祉施設中心の施策では到底対応できない状況であり、国、県としても行政と地域福祉団体、地域住民が一体となった在宅

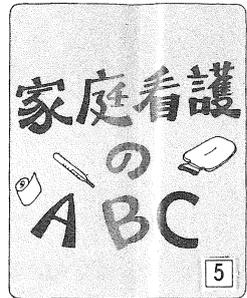


これからの事業を推進していくためには、町の社会福祉協議会が中心となり、地域住民の皆さんの絶大なご協力があつて初めて達成されるものです。お互いが助け合う共助の心で、豊かな福祉の町づくりにご協力をお願いします。

福祉政策への転換を推進中です。在宅福祉サービスとは、自宅福祉を受けることですが、この施策を推進していくためには、多くの経費と人材が必要です。県内でも一部の町村で給食サービスや入浴サービスを実施していますが、事業の中心は、社会福祉協議会であり、婦人会や商工会青年部、民生児童委員の方々の奉仕活動によって支えられています。

当町の社会福祉協議会は、県下で初めて県社会福祉協議会から地域福祉計画推進事業の指定を受け、総合的な福祉計画を立案中です。

また、来年度は福祉人材バンクの指定を受けますが、これは住民の方々がもっている技術や特技、労力を恵まれない方々に無料で提供して頂くもので、ボランティア活動を通じて福祉の町づくりを図るものです。



温湿布には、温湿布と冷湿布、温、冷両方使えるパップ剤湿布があります。

温湿布

温湿布は血液の循環をよくし、痛みを抑え、手足や関節の運動を楽にします。また、赤くなつて熱をもつ、はれる、痛むなどの症状を和らげ、回復を早める効果があります。

湿布

温める、冷やすは症状によって異なる

① 湿布をあてる場所に、やけど防止のワセリンを塗る。

② 湿布を絞って手首の内側にあてて温度を確かめ、患者の患部にあてる。

③ 湿布より大きく切った調理用ラ

ップまたはビニールを上からあて、冷めないように、さらに上から毛織布をあてる。

④ 患部に包帯（三角布や複帯）をまき、ずれないようにする。

※ やけどをさせないように、湿布の温度に注意する。

※ 湿布をとりかえる目安は約三時間、湿布によって患部が赤くなる、かゆくなる、痛むなどの異常がおきた時は湿布をやめ、医師に報告する。

冷湿布

痛み、炎症を和らげ、化膿を抑

えるのに効果があり、打撲やねんざの時に使います。

パップ剤湿布

方法は、湿布を水で絞ること、毛織布は当てないことのほかは、温湿布と同じです。

複帯の作り方

複帯は、あまり動くことのできない人が胸や腹の部分を湿布するときに役立ちます。つまり体を動かさずに湿布の取り替えができるからです。作り方は次のとおりです。

① 周囲の1.5倍に切る（例えば、胸に湿布を当てる場合は胸囲の1.5倍）

② 日本手ぬぐいあるいはさらしを使う。

③ 3枚の布を重ねる。

④ 重ねた布の中心をぬぐ。

⑤ ④から⑥の順に包む。

⑥ 当てる部位によって適当な幅に切る



パップ剤は、布にのばして使うものと、そのまま使うものがあります。種類によって十二〜二十四時間程度の持続的効果がありますが、かぶれやすい人は注意してください。

① パップ剤は、温湿布の場合には袋ごと熱い湯につけて温め、冷湿布はそのまま使う。

② 袋の角を切り、布（綿ネルなど）の上に、約五ミリの厚さのばし、その上をガーゼ一枚で覆う。

③ ガーゼのほうを患部にあて、油紙をかぶせ（温湿布の場合は、その上から毛織布を）包帯をする。

※はがした後は、パップ剤が皮膚に残らないようふきとる。湿り気をふいてパウダーを振る。湿布をはずしたあとは皮膚の保護のため、二〜三日は包帯をしておくとい（温・冷湿布の場合も同様）

湿布は、温めるか冷やすかによって効果の現れ方が異なります。自分勝手にせず、医師の指示を仰ぐようにしてください。

日曜当直医

今月の日曜当直病・医院は次の通りです。受付時間は午前10時から午後五時までで、診療は救急患者の方だけです。原則として往診は致しません。

- ◎12月1日 辻 医院 ☎0174
- ◎12月8日 石村病院 ☎0275
- ◎12月15日 清水医院 ☎2883
- ◎12月22日 米川医院 ☎0165
- ◎12月29日 岡田医院 ☎0639
- ◎12月30日 菊地医院 ☎0209
- ◎12月31日 門屋医院 ☎0202

三歳児健診

- ◎12月5日 町体育館 午後1時〜2時 対象は昭和57年9月、10月、11月生まれの子供さん。

乳児健診

- ◎12月12日 町体育館 午後1時〜2時 対象は昭和60年1月、4月、7月生まれの子供さん。

三種混合予防接種

- ◎12月17日 町体育館 午後1時〜1時30分 満二歳から満四歳までの方三回接種。三回接種完了後一年以上経過して五歳半までに一回接種。

不用犬買い上げ日

- ◎12月24日 各連絡所は午前9時、本庁は午前10時まで。買い上げ料金は一頭五百円。

米の消費拡大

生産者と消費者交流

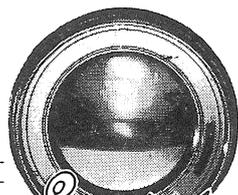


十月二十日柴の谷洲安夫さんの水田で「親子の稲刈り教室」が開かれた。白滝小PTA、児童、先生、改良普及所、農協、町職員ら三十六人が参加して、稲刈りや「子供の食生活と健康」の 슬라이ドを上映。生産者と消費者の交流を深め、米消費の拡大を図った。

県政の進展のため

県政教室

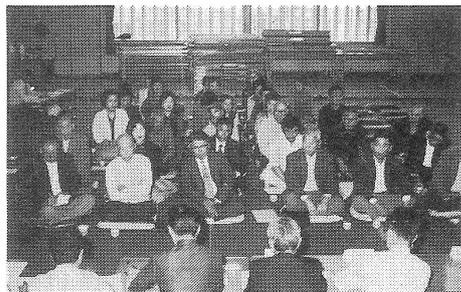
十一月一日、県政教室が開催され、長浜から八人が参加。これは県の主催で、県政に対する認識と理解を深め、施設や事業所に対する意見や要望を聴いて県政の進展に資するため、に開いているもの。今回は畜産試験場、畜産試験場、野村ダムを見てまわった。



道路改良など要望

～お茶懇・白滝・大和～

十月十八日白滝公民館で県主催のお茶の間懇談会を開催。地元から約四十人が参加して、道路改良や排水路など生活環境の問題などについて質問が出された。また、十月二十四日には大和公民館で開かれ、喜びと生きがいを感じるふるさとづくりについて語り合った。



稲刈り初体験

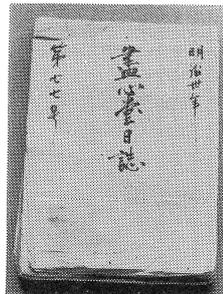
櫛生保育所

櫛生保育所では、自分たちで作った田でこのほど稲刈りを実施。二坪あまりの田へ三歳以上の子供たち二十八人と職員が初めてかまを使って一束一束刈り取った。稲木にかけて満足そうに「僕たちが作ったんだぞ」と目を輝かせていた。



宮長房日記抄⑦

軍艦扶桑の沈没



天(前略)十一時ヨリ学校生徒ヲ引率シテ長浜沓川洲口ニ座礁ノ軍艦扶桑ヲ見ル為出發教員生徒一同參ル須沢ノ時ヨリ須沢ニ下リ夫レヨリサイノ鼻ノ向フ沖浦ノ此地時道到ル見物ス座礁軍艦ノ分ニ一隻アリシザ亦馬関ヨリ二隻ノ軍艦來泊ス此地ノ軍艦ヨリ十八発ノ砲礼アリ亦先方ノ艦ヨリ九発ノ答砲アリ大ニ凄マジキ事ナリキ午後三時歸途ニ就キ(後略)

日清戦争が終った二年後の明治三十年(一八九七)十月二十九日午後四時十六分、水雷防禦訓練のため伊予灘に来ていた帝国軍艦松島を旗艦とする須磨・鎮遠・嚴島・和泉・扶桑の常備艦隊六隻は、長浜沖合約四キロメートルの海上に仮泊しようとした。その時、干潮時の激しい潮流に流されて扶桑は松島と嚴島に激突して大穴が生じ激しく浸水しはじめた。扶桑の瓜生艦長は艦体と乗員の安全を図る為座礁の決意を固め、全速で長浜海岸へ突進したが浸水の為速力が減じ午後四時五十七分沖の浜沖合の浅瀬に乗り上げた。乗組員三七六人は三十日午前三時に長浜町民の懸命の努力によって全員退艦を終了し、町内の旅館及び民家に分宿した。扶桑はその後ついに沈没した。

この報が伝わると県知事はじめ有志の慰問が相次ぎ、近隣から見物に来町するものもあとを絶たなかった。一宮長房日記にもその記事がのっている。

明治三十年十一月二日 天気晴

同年十一月七日(前略)本朝起キルヤ支度匆匆長浜町へ軍艦扶桑号ノ遭難慰問、旁鎮遠号縦覧ノ為補習科生ヲ引率シテ參ル(中略)夫レヨリ拙者ハ生徒ヲ引率シテ扶桑艦長ノ宿舎安田ヲ訪問シテ艦長代理ニ面接慰問ヲナセリ其内中野校長友沢氏ノ尽力ニヨリ鎮遠号縦覧ノ当統ヲ得テ渡舟ヲ雇入レ長浜川口ヨリ發舟北風強ク浪アリテ危険ナリシモ辛フジテ鎮遠号ニ着艦砲彈各室諸器械戦具ノ説明ヲ得テ大ニ満足セリ当艦ノ剛毅精巧ノ構造ナル意想外ニ出デタリ生徒一同大ニ吃驚スルノミ夫レヨリ午後五時長浜へ帰港生徒ニハ残りノ弁當ヲ喫セシム(中略)午後六時半帰途ニツクヤ月光皎々トシテ途ヲ照シ生徒モ疲労ヲ感ゼズ午後九時半帰村父兄ノ迎ヘアリテ各退散(後略)

扶桑は翌年七月五日引揚げられ呉軍港に回送された。

(長浜町文化財保護審議会委員・久保七郎)

表彰・スポーツ

表彰

県教育文化賞に

兵頭 正さん



昭和六十年度の県教育文化賞に下須戒の兵頭正さん(七〇)写真が選ばれ、十一月三日県庁で授与式が行われ、賞状、記章などが贈呈されました。

文部大臣賞

久保七郎さん



社会教育功労

長浜一二区の久保七郎さん(七三)写真は、多年にわたり社会教育の振興に功績があったことにより、十月二十八日、東京都で松永光文部大臣から表彰されました。久保さんは、婦人学級、青年教室、成人講座等各種の学習機会の充実、指導者の養成に努めるほか、社会教育指導員等として青少年の健全育成のため率先垂範して実践するなど社会教育の振興に貢献がありました。

兵頭さんは昭和八年、京城帝国大学法文学部を卒業。十八年京城女子師範学校教授、二十二年長浜高女教諭、三十二年宇和高校長、三十四年西条教育事務所長、三十五年大洲高校長、三十九年宇和島東高校長となり、四十年間にわたり学校教育と教育行政に専念され、教育に対する確固たる信念をもって学業とスポーツの両立を信条に高校教育の充実発展に尽くされました。四十四年からは大洲市教育長も務められ、現在は古城などの研究もされ町文化の発展に尽くされています。

東富幾子さん



共同募金功労

下須戒九五区の東富幾子さん(六三)写真は、長年共同募金活動に功労があったことにより、十一月十五日、東京都で開かれた全国社会福祉大会で増岡博之厚生大臣から表彰されました。

明関定市さん



社会福祉功労

長浜二十一区の明関定市さん(六三)は、社会福祉活動に功労があったことにより、十一月十五日、東京都で開かれた全国社会福祉大会で灘尾弘吉

全国社会福祉協議会長から表彰されました。

熊本アナが「最優秀賞」

全国大会へ出場

長浜町有線放送の熊本真弓アナウンサー(三三)は、十月二十四日県庁で開かれた昭和六十年(第二十六回)愛媛県有線放送等アナウンスコンクールで、みごと「最優秀賞」に選ばれ、白石春樹愛媛県知事、柳川清馬県有線放送等連絡協議会長から表彰されました。熊本アナは過去四回優秀賞に入賞し、最優秀賞は昭和五十二年、五十八年度について三度目の受賞。今年十一月二十一日東京で開かれる全国大会へ県代表で出場することになりました。

優秀賞に入選

有放番組コンクール

昭和六十年(度)有線放送等番組コンクールに出品した本町の作品、お知らせの部「町のたより」(六月十五日放送)が優秀賞に入り、十月二十四日、白石春樹愛媛県知事、柳川清馬県有線放送等連絡協議会長から表彰されました。なお、この作品は全国大会に推せんされることになりました。

郷愛護班

子供会の育成

下須戒の郷愛護班(班長・奥島幸雄さん)は、青少年の健全育成

を図るため、子供会の育成、あいつ運動に地域ぐるみで取り組み、他の愛護班の模範となることにより、十月三十日、松山市で開かれた愛媛県愛護班研究大会の席上、高木方知県教育長から表彰されました。

杉の子子供会

優良子供会

出海の杉の子子供会(班長・水本和美さん)は、空かん、ごみ拾いや火の用心の見廻りなど組織的な集団活動によって子供の自主性、協調性を高め、社会生活を身につけさせ、ふるさとを愛する人格形成を図るなど他の子供会の模範となることにより、十月三十日、松山市で開かれた愛媛県愛護班研究大会の席上、高木方知県教育長から表彰されました。

スポーツ

大和チームが優勝

長浜後期ナイターソフト

七月二十二日開幕した長浜後期ナイターソフトボール大会が十月十四日閉幕、八勝一分で大和チームが五度目の優勝を飾りました。成績は次の通り。

- ①大和ソフトクラブ8勝1分②豊茂ファイターズ8勝1敗③岸本ジャイアンツ7勝1敗1分④役場スラッガーズ5勝4敗⑤フェニックスクラブ4勝5敗⑥農協ファイヤーズ4勝5敗⑦ニギューズ4勝

神山が優勝

全白滝ソフトボール

第七回全白滝ソフトボール大会後期リーグが十月二日終了、神山チームが六勝一敗で優勝しました。前期の優勝戒川チームとプレーオフを行った結果、14-5で神山チームが勝って今年度のチャンピオンとなりました。

- ①神山6勝1敗②白同5勝2敗③ナイターズ4勝3敗④白雄4勝3敗⑤戒川4勝3敗⑥柴3勝4敗⑦ヤロウ会2勝5敗⑧大洋0勝7敗

大和、長浜がV

クラブ対抗バレー

十月二十七日、勤労者体育センターで第十七回クラブ対抗バレーボール大会が開かれ、男子九チーム、女子六チームが参加して熱戦が展開されました。成績は次の通り。

- 【男子】優勝 大和クラブM二位 榎生クラブM三位 昭和サポアクラブ、白滝クラブB 【女子】優勝 長浜婦人クラブAM二位 長浜婦人クラブBM三位 白滝婦人クラブ

愛媛県民スポーツ大会、85

大和チームが優勝

クロッケー老年一部

十一月四日、県運動公園で愛媛

県民スポーツ大会が開かれ、本町から出場した大和チーム(水本満良、中川武雄、山本勉)はクロッケー老年一部で堂々優勝を飾りました。また、男子バレーボールに出場した榊生チームは決勝で措しくも敗れて二位になりました。

募集

快適な住まいの アイディア

女性の作文

女性の皆さんが、普段考えたり、実行したりしている快適な住まいのための知恵、エネルギーの工夫について書かれた作文を募集します。お気軽に応募してください。

【テーマ】快適な住まいのアイディア

【応募資格】女性に限ります。

【応募方法】四百字詰め原稿用紙五枚以内。

氏名、年齢、住所、電話番号、職業を必ず明記してください。

【応募締切】昭和60年12月16日
【送り先】財住宅・建築省エネルギー



あつというまに十二月。「光陰矢の如し」時間の尊さが骨身に沁みる。合わせて過ぎた日々には限りない思い出が甦り、良くここまで頑張れたものだと感慨に更ける。一方国内では「いじめ」の問題が浮上し、子女の養育に当る父母は勿論学校教育や社会教育の反省を急がれている。グリコ・森永事件やドリンク事件の人命軽視の風潮には目を覆いたくなる。加えて人生80年代を迎え高齢化社会と福祉政策、行政改革、臨教審、国防費1%問題、輸出入問題と国内産業の振興の問題等々枚挙にいとまない。長浜町は本年1月1日で30周年を迎え30年の足跡を回顧し、町政の功労者の顕彰を行うと共に、今後の町政の発展を誓い合った。合併30年前の町人口は2万人を越えていたが、現在は1万2300人を下回り、過疎化の一途を辿っている。町行政では町の人口定着と経済発展を期待し、第二次開発事業に踏み切った。物事は一朝一夕には完成しない。今こそ為政者と町民が一丸となり、新生長浜町誕生のため努力されたい。1986年の足音が聞こえてくる。楽しく住よい、豊かで働きがいのある町づくりに邁進しよう。

寄付採納

ギー機構作文募集係 〒107東京都港区赤坂一―六―十九 勝永ビル
○長浜一二区の境良恵さん(六三) 天ぷら上げバット五個を中央公民館へ。

結婚



10月長浜町役場届出分(敬称略)



10月のトップは久保嘉範・美保子さんのカップル

住所	氏名	結婚時年齢
下須戒	久保嘉範	(二二)
出須海	山下美保子	(二三)
沖浦	西野秋夫	(二二)
五十崎	西野ふみえ	(二九)
柴山	山本智司	(二九)
松山市	新谷政子	(二五)
今仁坊	丸笹博志	(二七)
長浜	丸井和恵	(二四)
双海	森田和博	(二八)

お誕生おめでとう!!

住所	氏名	続柄	児名
長浜	大瀧哲志	長男	恭平
沖浦	山田清孝	長男	敬太郎
柴坊	堀井敏文	長女	藍
今仁坊	松浦正夫	長男	達也
長浜	寺岡正志	三男	浩司
上老松	横田建二	長女	絵美
黒田	久保比呂志	長男	和広

おくやみ

住所	氏名	死亡時年齢
長浜	村上一郎	(八〇)



お祝い電報は お早めに

お祝い電報の受付は、配達日の10日前から受付しており、3日前までにお申し込みになると150円割引になります。お早めに電話局窓口へお申し込みください。
NTT伊予長浜電報電話局 TEL 116番

住所	氏名	年齢
下須戒	本谷チエ子	(六二)
上老松	池田準爾	(六四)
長浜	菊地キミ子	(七三)
出海	金岡ナ、メ	(七九)
長浜	菊地八太郎	(八三)
沖浦	徳田マユミ	(八四)
出海	耳塚公正	(七七)
長浜	水本重幸	(三七)
今仁坊	小前ミチエ	(五三)
榊生	下坂岩助	(六九)

人口世帯数

人口をふやしましょう

	11月1日現在	前月との比較
人口	12,233人 (男 5,774人 女 6,459人)	11人減 (8人減 3人減)
世帯数	3,867世帯	5世帯増

そして来年は私の年でもあります。新採の職員もなく、今ひとつ活気のない役場にも新風を吹き込んでトラフィーバーのような明るい話題を提供したいものだと一年を振り返って反省しています。そして皆さんの中に少しでも入っていつてホットな話題を見つけ、明るい紙面づくり、明るい町づくりに努力したいと思えます。(お)

編集後記

今年のプロ野球は二十一年ぶりの阪神タイガースの優勝で「トラフィーバー」が続き、阪神ファンにとっては活気のある一年でした。しかも来年の干支はトラ…。来年も今年のフィーバーを持続して阪神ファンだけでなく、我町にも活力を導入して停滞している景気が上向いて欲しいものです。